

# 市民ZOOネットワーク 2004年度 事業報告

平成17年6月11日  
特定非営利活動法人  
市民ZOOネットワーク

## 目 次

1. 環境エンリッチメント推進事業
  - 1.1 エンリッチメント大賞
  - 1.2 エンリッチメントに係る調査・協力
  - 1.3 エンリッチメントデータベースの作成
  - 1.4 「The Shape of Enrichment」の日本語版サイト運営
2. 動物園等に関する調査研究事業
  - 2.1 ワークショッププログラムの開発・実施
  - 2.2 動物園関連情報の収集・公開
  - 2.3 動物園等に関する調査・研究
  - 2.4 動物園等に係る各種協力・助言
  - 2.5 各種団体との連携
  - 2.6 公的な検討委員会への参画
3. 動物園等に関する普及啓発事業
  - 3.1 セミナー・勉強会
  - 3.2 情報発信
  - 3.3 出版企画
  - 3.4 依頼講演・プレゼンテーション
  - 3.5 取材対応等
4. 人材育成事業

## 1. 環境エンリッチメント推進事業

### 1.1 エンリッチメント大賞

第3回エンリッチメント大賞の企画運営を実施した。実施体制及び経過は以下のとおり。

- 募集期間:2004年6月1日～8月31日
- 応募結果:応募総数83件
- 審査方法:  
下記4名の有識者による審査委員会を構成した。書面による一次審査を通過した受賞候補に対して、事務局による現地調査を行ったうえで、審査委員会を開催(12月3日)して二次審査を行い、受賞者を決定した。審査結果は、12月15日に公表した。

審査委員会:

正田 陽一氏(東京大学名誉教授/東京動物園協会副会長)  
松沢 哲郎氏(京都大学霊長類研究所教授)  
ロニー・アレキサンダー氏(神戸大学国際協力研究科教授)  
川端 裕人氏(作家)

- 審査結果
  - ▼飼育担当者部門大賞  
木樽隆介さん(さる山/旭川市立旭山動物園)
  - ▼飼育施設部門大賞  
アジアの熱帯雨林ゾーンのゾウ舎(大阪市立天王寺動物園)
  - ▼来園者施設部門大賞:  
食堂の体験メニュー((財)東京動物園協会)  
つらい坂道を楽しくする「足跡」(愛媛県立とべ動物園)
  - ▼特別賞  
あざらし館(旭川市立旭山動物園)
  - ▼動物園コミュニティ賞  
赤パネル・青パネル(旭川市立旭山動物園)

### 1.2 エンリッチメントの調査・協力

#### (1) 安佐動物公園

安佐動物園を訪問し、チンパンジーの群れづくりについてアドバイスを行った。

訪問日及びコンサルタント:

2004年10月1～3日 落合知美、野上悦子

(2) みさき公園動物園

3回にわたり、みさき公園動物園を訪問し、エンリッチメントに関する情報提供、新しいツキノワグマ舎に関する意見交換等を行った。

訪問日及びコンサルタント:

2004年10月16日 赤見理恵、桧垣小百合

2005年1月19日 落合知美、桧垣小百合

2005年3月6日 落合知美、桧垣小百合

1.3 エンリッチメントデータベースの作成

コペンハーゲン動物園が作成したエンリッチメント資料について、ボランティアの協力を得て、逐次翻訳を進めた。

1.4 「The Shape of Enrichment」の日本語版サイト運営

市民ZOOネットワークウェブサイト内に設置したサイトにより、エンリッチメントに関する情報提供を行った。<http://www.zoo-net.org/act/soe-japan.html>

## 2. 動物園等に関する調査研究事業

### 2.1 ワークショッププログラムの開発・実施

#### (1) 多摩動物公園

2004年8月29日、多摩動物公園において、ワークショップ「ZOO ウォッチング教室ーキリンの行動観察ー」を実施した。(当日参加者10名)

なお、同ワークショッププログラムは、和光大学からの受託プログラム(2004年7月20日)、帝京科学大学の学生有志によるワークショップ(2005年3月25日)として活用された。

#### (2) よこはま動物園ズーラシア

2004年11月3日、ズーラシアにおいて、ワークショップ「じっくり見学ズーラシアー来園者の視点、キーパーの視点ー」を実施した。(当日参加者19名)

#### (3) 旭山動物園

2005年2月6日、旭山動物園において、ワークショップ「環境エンリッチメントを展示する」を実施した。(当日参加者20名)

実施にあたっては、昨年度作成した資料に加え、「別冊あざらし」を新たに作成した。

### 2.2 動物園関連情報の収集・公開

動物園関係書籍、パンフ、会誌、論文等各種の資料を収集し、ウェブサイト上で「おすすめ本」を紹介するなど文献情報の提供を行った。

### 2.3 動物園等に関する調査・研究

日本財団の平成15年度助成事業として実施したボランティア調査(園館のボランティア受入状況に関するアンケート、ヒアリング調査)について、報告書(提言書)をとりまとめた(1冊1000円で希望者に頒布)。

本調査の結果をもとに、各園館のボランティア受入状況をウェブサイトで公開した。また、調査結果について、2004年11月27、28日に開催された日本動物園水族館教育研究会にて発表した。

### 2.4 動物園等に係る各種協力・助言

#### (1) 須坂市動物園

2004年11月16日に開催された「動物園フォーラム」に協賛し、ブース出展として参加した。

#### (2) 日立市かみね動物園

ひたち NPO センターwith you が進める「かみね動物園」再生を考えるプロジェクトに対して助言を行った。また、同プロジェクトにおいて実施された一連のワークショップにおいて、以下のとおり話題提供や講師を務めた。

2004年9月18日 シンポジウムにおいて牧慎一郎が話題提供した

2004年9月25日 フィールドワークにおいて赤見理恵が講師を務めた。

2004年10月17日 ワークショップにおいて赤見理恵が講師を務めた。

## 2.5 各種団体との連携

### (1) 動物園研究会

雑誌「動物園研究」の編集を受託した。また、第15回(2004年4月)及び第16回(2004年10月)の動物園研究会において、市民 ZOO ネットワークより発表を行った。

### (2) SAGA(アジア・アフリカに生きる大型類人猿を支援する集い)

2004年11月13日に開催された SAGA 会合において、第2回エンリッチメント大賞受賞の講演(円山動物園の吉田淳一氏、釧路市動物園の東卓也氏)を実施した。また、ブース展示を行った。

### (3) JGI-J(ジェーン・グドール・インスティテュート・ジャパン)

2004年11月に行われたジェーングドール氏講演に対し後援を行った。

### (4) 野生動物医学会

2004年9月17～19日に開催された野生動物医学会にてブース展示を行った。

### (5) その他

その他各種団体との適宜情報交換を行った。

## 2.6 公的な検討委員会への参画

### (1) 横浜市立動物園のあり方懇談会

懇談会に牧慎一郎が委員・経営強化部会長として参画した。

- ・ 2004年7月28日 第1回懇談会
- ・ 2005年3月28日予定 第7回懇談会(最終)

(なお、懇談会がとりまとめた報告は、2005年4月25日に公表された。)

### (2) 福岡市動植物園再生基本構想検討委員会

委員会に落合知美が委員として参画した。

- ・ 2003年8月4日 第1回委員会
- ・ 2004年4月5日 第5回委員会(最終)において基本構想をとりまとめた

### 3. 動物園等に関する普及啓発事業

#### 3.1 セミナー・勉強会

- (1) 勉強会「展示動物基準の改正について」
  - ・ 2004年4月17日、文京シビックセンターにおいて開催
  - ・ 話題提供: 牧慎一郎(市民ZOOネットワーク代表理事)
  - ・ 参加者: 9名
- (2) 講演会「チンパンジーアイとアユムとアフリカの仲間たち」(共催)
  - ・ 2004年5月30日、明治大学リバティホールにおいて開催
  - ・ 講師: 松沢哲郎氏(京都大学霊長類研究所教授)
  - ・ 実行委員会に市民ZOOが協力
- (3) 総会&活動報告会
  - ・ 2004年6月19日、文京区シビックセンターにおいて開催
  - ・ 報告者: 牧慎一郎(市民ZOOネットワーク代表理事)
  - ・ 参加者: 17名
- (4) セミナー「環境エンリッチメントをめぐって」
  - ・ 2004年7月21日、環境パートナーシップオフィスの会議室において開催
  - ・ 講師: 堀秀正氏(多摩動物公園)
  - ・ 参加者: 28人
- (5) サポーター発表会
  - ・ 2004年12月11日、環境パートナーシップオフィスの会議室において開催
  - ・ 発表者及び演題  
「欧州動物園めぐりにいってきました♪」赤見理恵  
「飼育下におけるニホンイヌワシのペアリングに至るまで」横田真啓  
「飼育実習へ行こう！」渡辺祥平、三浦乃莉子  
「アザラシみにいこう！」千葉基子  
「アフリカのエコツアーリズム～ケニアのキリン、ルワンダのゴリラ～」清水亜紀子  
「小さな動物園でできる地域交流」石原佳央子
  - ・ 参加者: 15名
- (6) セミナー「エンリッチメント大賞 2004 ～大賞受賞施設の魅力に迫る～」
  - ・ 2005年1月12日、環境パートナーシップオフィスの会議室において開催
  - ・ 発表者: 大橋民恵、さとうあきら、渡辺祥平
  - ・ 参加者: 14名

#### 3.2 情報発信

- (1) ニュースレター  
ニュースレターを4回(第10号～13号)発行した。

- ・ 第10号(2004年4月)(特集:エンリッチメント大賞)
- ・ 第11号(2004年7月)(特集:展示基準改正)
- ・ 第12号(2004年10月)(特集:日動水インタビュー)
- ・ 第13号(2005年1月)(特集:エンリッチメント大賞)

(2) メールニュース

電子メール版を月2回、携帯メール版を随時配信した。

配信数は696人(直接配信:576人、まぐまぐ:89人、melma!:31人)

※2005年3月9日現在

(3) Web サイト

ウェブサイトについては、メールニュース発行前の月2回の更新を基本としつつ、随時更新し、情報提供を行った。また、2004年度子どもゆめ基金助成に作成した教材をウェブサイトで公開した。

カウント数: 39,442→55,835 アクセス

(トップページのみ;2004年4月12日→2005年3月9日現在)

### 3.3 出版企画

2004年5月7日、岩波書店より、市民ZOOネットワークのメンバーにより分担執筆した岩波ブックレット「いま動物園がおもしろい」が発行された。初版1万部。2005年1月には第2刷が発行された。

執筆担当者:佐渡友陽一(I~III章), 落合知美(IV章), 牧慎一郎(V章), 大橋民恵(VI章)

全体編集・巻末資料: 赤見理恵

#### 目次

1. 変わる動物園
2. 動物園の役割 -「種の保存」と「環境教育」
3. 展示で伝えるメッセージ -生態的展示と環境一体型展示
4. 動物たちの幸せな暮らしを求めて
5. 動物園で学べること
6. 私たちと動物園 -次世代の動物園の姿

#### [巻末資料]

動物園・水族館をより深く知るための URL

ボランティア活動ができる動物園・水族館

### 3.4 依頼講演・プレゼンテーション

- ・ 森下文化センターからの依頼講演(2004年6月23日に講義、7月7日に上野動物園でワークショップを実施)(落合知美)
- ・ 和光大学の授業(2004年7月12日に講義、7月19日に多摩動物公園でワークショップを実施)(赤見理恵)

- 日本環境教育学会 関連小集会「社会教育施設と学校の連携は進んだか？～子ども-教員-施設職員:市民が参画する動物園～」において話題提供(2004年8月1日)(赤見理恵)
- ひたち NPO センターwith you 主催のシンポジウムで「市民と動物園」という題で話題提供(2004年9月18日)(牧)
- ひたちNPOセンターwith you ワークショップに講師として参加(2004年9月25日、10月17日)(赤見理恵)
- 旭山動物園主催の「21世紀の動物園を考えるシンポジウム」に、パネルとして参加し、「私たちの動物園 来園者から利用者へ」の演題で発表(2004年11月23日)(大橋民恵)
- 日本動物園水族館教育研究会において、「市民による動物園活用のための環境整備」の演題で発表(2004年11月27、28日)(佐渡友陽一が発表。大橋民恵&赤見理恵との連名)
- 神戸大学国際文化学部塚原研究室のゼミで、動物園について話題提供(2005年1月27日)(牧慎一郎)
- 多摩動物公園の飼育研究会において「ヨーロッパ動物園紀行」の演題で話題提供。(2005年2月16日)(赤見理恵)
- ヒトと動物の関係学会第11回学術大会において「人は動物の何に魅かれるかー動物園での成功する企画」と題したパネルディスカッションに、パネラーとして参画。(2005年3月20日)(牧慎一郎)

### 3.5 取材対応等

動物園等に係る多数の取材に対応した。(年間40件程度)

## 4. 人材育成事業

動物園等に関心を有する学生等に対して、適宜情報提供等を行った。